

平成27年度実質当初予算 企画振興部主要施策の概要

◎予算編成のポイント

- ・ 本県の持続的な成長と発展に向けた施策の検討を進める。
- ・ 北陸新幹線の早期完成に向けた整備を推進するとともに、金沢開業効果を最大限に引き出し持続させていくための取り組みを進める。
- ・ 小松空港、のと里山空港の航空ネットワークを活用した交流促進に取り組む。

◎重点主要施策の概要

- 北陸新幹線金沢開業やその後の敦賀延伸、本格的な人口減少時代の到来といった社会・経済情勢の変化を見据えた新たな県政の基本指針を策定する。
- 北陸新幹線金沢・敦賀間の工期短縮による早期完成・開業、大阪までのフル規格による早期全線整備に向けて取り組むとともに、並行在来線の利活用促進を図る。
- 北陸新幹線金沢開業を踏まえ、移住・交流居住の促進や高等教育機関の活性化、都心部の賑わいづくりなど、その効果を最大限に引き出し持続させていくための取り組みを進める。
- 小松空港については、小松空港活性化アクションプランに基づき、新幹線開業後の航空を取り巻く状況の変化を見極めながら、新規航空需要の開拓・定着を図りつつ、国内線・国際線の利用促進、国際物流拠点化の推進などの取り組みを戦略的に進める。
- のと里山空港については、新幹線との連携等を通じた新規需要開拓・定着など、首都圏・地元双方向での利用促進に取り組む。

平成27年度実質当初予算 企画振興部主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
1 北陸新幹線の建設促進 ・ 北陸新幹線建設費負担金	5,079,847	長野～金沢間 1,889,085千円 金沢～敦賀間 3,190,762千円
2 開業効果の最大化と持続・発展に向けた新たな石川の魅力づくり		
(1) 石川の魅力による四季折々のおもてなし ・ 百万石まちなかめぐりの開催	10,000	都心部における春の桜、秋の紅葉をテーマとしたイベントの実施
(2) 開業効果の県下全域への波及に向けた受け地の取り組み ・ JR七尾線・のと鉄道観光列車による地域の魅力発信	2,000	乗車特典の進呈や特産品販売の取り組みなどに対する支援
・ IRいしかわ鉄道の利活用促進に向けた取り組み	6,000	利活用促進やマイレール意識の醸成を図るための啓発・広報活動や駅周辺の賑わいづくりへの支援
・ 二次交通アクセス強化に向けたバスの実証運行	4,000	毎日2往復体制への拡充による利便性の向上、二次交通アクセスの周知
・ 地域おこしご当地グルメへの支援	5,600	いしかわ食のてんこもりフェスタの開催など
3 航空ネットワークを活用した交流の促進		
(1) 航空利用による新たな旅行形態の定着	200,000	新幹線、1県2空港を活かした羽田便利用を促す割引旅行商品の造成
(2) 小松空港 ・ 新幹線効果を取り込んだ新規需要の確保	2,000	新幹線やのと里山空港と組み合わせた旅行商品の造成支援
・ 航空の優位性を活かした利用促進	14,600	航空会社と連携した羽田乗り継ぎ便の需要喚起、ビジネスリピーターの確保、福井県との連携による新規需要の開拓など
・ 利用者の利便性の向上	19,700	駐車場料金の大幅な軽減(第1、3:600円→400円、第2:800円→500円)、空港アクセスバスの運行支援など
・ タイ・香港路線の開拓	20,000	タイチャーター便の運航支援など
・ 国際旅客便の利用促進	47,594	台北便・ソウル便・上海便の旅行商品造成支援・広報などの年間を通じた需要の喚起など
・ 国際物流拠点化の推進	17,800	新規貨物開拓のための輸送トライアルへの助成 フォワード・荷主へのPRの強化など
(3) のと里山空港 ・ 新幹線需要等を取り込んだ利用客の確保	110,600	金沢駅と空港を結ぶ定期観光バスの実証運行 広域レンタカーの利用料金の低廉化 「まれ」を活用した旅行商品の造成支援 丸の内朝大学と連携した外国人誘客の促進など (他に地方航空路線活性化プログラム 28,000千円)

事業名	金額(千円)	説明
・ 利用者の利便性の向上	2,710	二次交通(ふるさとタクシー)の運行支援 ふるさとタクシーと観光タクシーとの相互利用モデルの実施 (他に地方航空路線活性化プログラム 8,000千円)
・ 国際インバウンドチャーター便の運航支援	12,000	のと里山空港を利用したインバウンドチャーター便による海外からの旅客誘致に対する助成
4 移住定住の促進		
・ 移住・交流居住施策の推進	27,000	㊦短期移住モデル事業の実施、㊦日本郵便(株)との移住包括協定に基づく地域情報の提供や相談体制の構築、㊦J R西日本とタイアップした移住体験モニターツアーの開催など
5 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力発信		
(1) 大学コンソーシアム石川に対する支援	16,508	いしかわシティカレッジにおける単位互換事業の推進など
(2) 高等教育機関による県外高校生への魅力発信	5,100	㊦首都圏での高校訪問、新幹線沿線県での進学説明会への参加支援
(3) 高等教育機関との連携による学術交流の推進		
・ いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットとの連携	25,000	里山里海の利用保全など持続可能な開発をテーマとする研究活動に対する支援など
・ いしかわ国連スタディビジット・プログラムの実施	2,500	国連大学等と連携し国際舞台での活躍を志す学生を国連本部等へ派遣
(4) 高等教育機関の地域貢献による地域活性化の推進	15,200	地域課題の解決に取り組むゼミナール等への支援
(5) 海外インターンシップの実施	2,400	海外進出した企業での現地研修(タイ、ベトナム)
6 新たな長期構想の策定	30,000	㊦社会・経済情勢の変化を見据えた新たな長期構想の策定
7 地方創生総合戦略の策定	20,000	㊦いしかわ創生総合戦略(仮称)の策定
8 安全でうるおい豊かな環境づくり		
(1) 生活を支える交通基盤の確保		
・ I Rいしかわ鉄道に対する支援	177,000	並行在来線運行支援基金の活用による乗継割引・運賃値上げ抑制に対する助成 150,000千円 鉄道運行管理設備の整備に対する助成 27,000千円
・ のと鉄道運行維持への支援	93,850	のと鉄道の鉄道基盤維持等に関する経費への助成
・ のと鉄道、北陸鉄道が実施する安全対策に対する支援	97,174	鉄道事業者が安全対策として行う設備整備に対する助成
・ 生活路線バスの運行支援	249,089	地域住民の日常生活に供する公共交通を確保するための生活バス路線の運行維持に対する助成等
(2) 再生可能エネルギーの利活用の推進		
・ 民間企業の再生可能エネルギー事業への参入促進	新規融資枠 10億円	再生可能エネルギー導入支援融資